

経営比較分析表（平成28年度決算）

大分県 炬島村

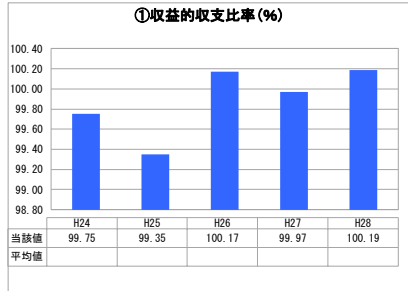
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|---------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 漁業集落排水 | H2 | |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 有収率 (%) | 1か月20m ³ 当たり家賃料金(円) |
| - | 該当数値なし | 16.22 | 53.00 | 2,160 |

| 人口 (人) | 面積 (km ²) | 人口密度 (人/km ²) |
|-------------|---------------------------|--------------------------------|
| 2,152 | 6.99 | 307.87 |
| 処理区域内人口 (人) | 処理区域面積 (km ²) | 処理区域内人口密度 (人/km ²) |
| 344 | 0.19 | 1,810.53 |

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



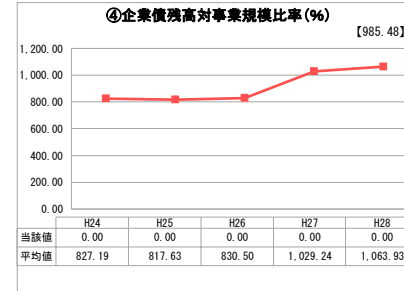
「単年度の収支」



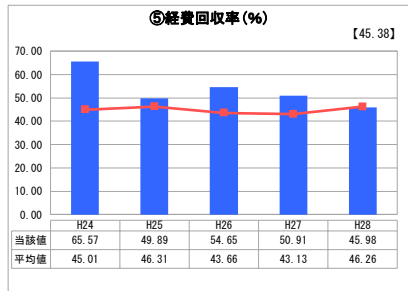
「累積欠損」



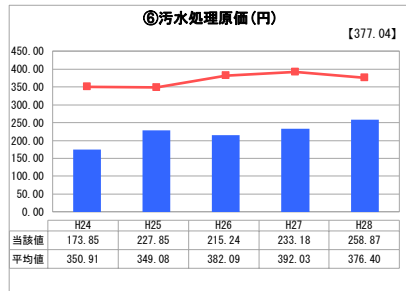
「支払能力」



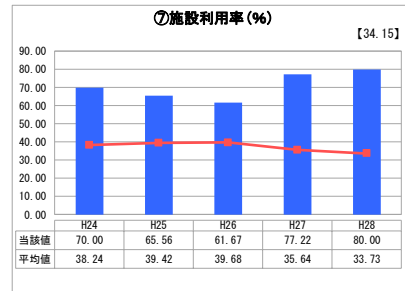
「債務残高」



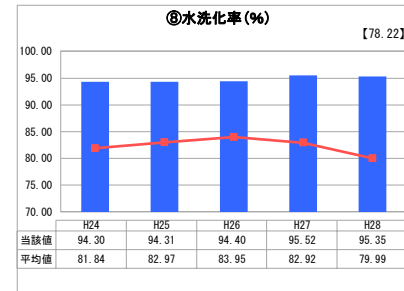
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

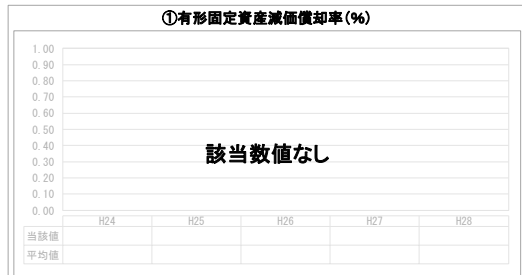


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

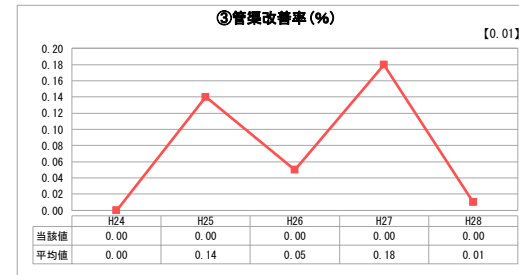
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について、使用料収入は人口の減少により減少しているものの、一般会計からの繰入を行い収支比率は黒字になっている。引き続き、使用料収入の確保及び維持管理費の節減に努める。
 ④債務残高については、漁集3施設の浄化センター建設費等の施設整備に村債を発行しているが、債務残高は減少している。また、後年度の負担にならないよう、交付税措置の無い村債は発行しない。償還には一般会計からの繰入金を充てているため、企業債残高対事業規模比率は0%となっている。
 ⑤経費回収率については、歳出削減策を行っていることもあり、類似団体に比して高い。今後も引き続き物件費等の節減に努め、経営の健全化を図る。
 ⑥汚水処理原価については、類似団平均に比して低い。今後も引き続き未接続世帯の加入促進を図り、有収水量の増加に努める。
 ⑦施設利用率については、人口の減少に伴う処理量が減少しているため、年々低下している。
 ⑧水洗化率は、類似団体と比較すると高い状態だが伸び悩んでいる。引き続き、未接続世帯への普及促進を図り、水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

H7. 8. 9年度から漁集3施設の供用開始し、21年経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。H32年度よりストックマネージメントを踏まえ、施設の延命化工事を行い、維持補修費の縮減に努める。

全体総括

施設の老朽化が進んでおり、今後行われる施設の延命化工事に伴う村債の発行により、地方債償還費の増加が見込まれるが、交付税措置の無い村債は発行しない等の運用を引き続き行い、未接続世帯への加入促進による料金収入の増加に努め、経営の健全化を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。